

しんぶん**赤旗**を
お読みください
日刊3,497円／月
日曜版930円／月
申込み 363-1450

民主なかがわ
第189号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
<http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/>

74年目の終戦記念日

8月15日、74年前のアジ
ア太平洋戦争終結の日を記
念して、江上博之市議は、
尾頭橋と五女子で、平和を
願って街頭宣伝に取り組み
ました。

侵略への反省を土台に

台風10号の日本列島縦断

後の強風の中、江上市議は「15年にわたる侵略戦争が終わり、台湾、朝鮮半島が日本の植民地から解放されました。日本人も犠牲となり、特に広島、長崎の悲劇がありました。アジアの人々2000万人、日本人310万人の犠牲者に哀悼の意

を表するとともに、二度と再び政府による戦争はさせない」と決意を語りました。今、「元徴用工」による裁判、それを理由にした日韓の貿易対立がある中で、日本の植民地支配への反省を踏まえた対応が求められていることも話しました。

国民の声は安倍改憲反対

7月21日投票された参院選の結果にもふれ、改憲勢力2／3阻止、市民と野党の共闘で1人区10人当選、日本共産党は2年前の共闘分断時の衆院選より前進したこと。自民党は、改選議

席を9減らし、単独過半数に届かなかったこと。「有権者は、安倍9条改憲にNO!の審判を下した」と語りました。

表現の自由を守れ

「表現の不自由展・その後」が、河村市長の芸術に対する検閲で閉鎖に追いこまれた問題も取り上げ、「『表現の自由』は戦争の反省のもとに憲法に掲げられました」と、市長発言を批判し、撤回を求めました。

通りがかった女性から、「がんばって」の声がかかりました。



終戦記念日に訴える江上市議(尾頭橋、五女子)

広島、長崎、戦争を忘れない

リラ豪雨に代わってしまっ
たのではないか▼明らかに
地球温暖化のせいです。と
ころが、わが家を見ると、
温暖化対策どころか、いま
ではエアコンをかけて寝た
こともなかったのに、昨年
からかけっぱなしで寝るよ
うになり、CO2排出量を



夕立はどこへ行つたのか

市議 江上ひろゆき

増やしてしまいました。名古屋市の古屋市も対策に取り組むどころか、窓の密閉された超高層建物ばかり建設し、さらに「都市再生」の名の規制緩和でますます超高層ビル建設です。まち壊しだけでなく、自然破壊です▼私は、CO2削減の取組として超高層ビル建設を批判しどこへ行ったのか

市議 江上ひろゆき

てきました。2002年9月議会、2008年6月議会会で取り上げています▼CO2削減をはじめ地球温暖化対策に取り組み、自然災害対策に取り組む中で、再び「夕立」を取り戻したいと願っています。眠れる夜にするためにも。

8月6日広島原爆投下、
9日長崎原爆投下、そして、
15日アジア太平洋戦争の終
戦記念日。この日を忘れず、
亡くなられた方を弔い、二
度と再び戦争犠牲者を出さ
ない、という誓いを込めた
「平和の鐘つき」が中川区
の富田江松の随縁寺、戸田
の寶泉寺で取り組まれまし
た。

平和の鐘つき

9日、隨緣寺には、住職、



地域の方、中川年金者組合のみなさんとともに江上博之市議も鐘をつきました。

弁護士相談 9月19日午後6時半(木) 電話連絡 363-1450 江上事務所

一色で反核平和盆踊り開

平和な暮らしを願って始まった反核平和盆踊りが8月24日、下之一色の波花公園で開催されました。雨で

24日土曜日一日だけでした。模擬店、踊りにぎやかに開催時間前の夕方5時に



は、中止となった前日の影響を吹き飛ばすように、焼きイカや焼き鳥、焼きそばなど模擬店の前には、行列ができ、お好みの食べ物を買い求める人が殺到しました。午後6時、高尾実行委員長から「平和を求める声を地域から上げていこう」と挨拶がありました。

核兵器禁止条約締結を

踊りの合間にやぐら舞台

抽選会も

から、参議院選挙で奮闘したすやま初美さんが、平和を守って行くことの大切さと、核兵器禁止条約締結などを訴えました。また、江上博之市会議員は、河村市長の表現の自由を侵害し歴史を改ざんする発言を批判するとともに、新川にかかる両郡橋改築にみなさんの声を、と呼びかけました。

その後、盆踊り参加者の大抽選会が行われ、お米やビール、自転車等、当選番号が読み上げられるたび、

「表現の不自由展・その後」に対する河村市長発言に抗議し、同企画展の再開を求める申し入れ

名古屋市長河村たかし様 日本共産党名古屋市議団田口一登 あいちトリエンナーレの企画展の一つである「表現の不自由展・その後」が、同実行委員会会長である大村秀章愛知県知事の表明で、8月3日限りで中止になりました。

同企画展が中止に追い込まれた契機となったのが、8月2日に河村たかし名古屋市長が大村秀章実行委員会会長に対して行った中止要請です。河村市長は、その中で、同企画展が「表現の不自由」という領域ではなく、日本国民の心を踏みにじる行為であり・・・行政の立場を超えた展示が行われている」と表明していますが、同企画展は、美術館等で展示を拒否されたり、一度展示されたものを撤去されたりした作品をその経緯とともに展示し、「（表現の）自由をめぐる議論の契機を作りたい」（同企画展実行委員会あいさつ文）として企画されたものであり、個別の作品への賛意を示したものではありません。それにもかかわらず、中止を求めた市長の発言は、憲法21条が保障する「表現の自由」を侵害するものであり、断じて許されません。しかも、憲法21条は検閲を禁止しています。市長が、展示物の内容を問題にして展示を中止させるというのは、まさに憲法違反の事実上の検閲にほかなりません。

憲法21条で、「・・・一切の表現の自由は、これを保障する。・・・検閲は、これをしてはならない。」としているのは、先の戦争に突き進んだ時の政治権力によって「表現の自由」が侵されたことの反省に立ったものです。「表現の自由」が脅かされるときは、国民の人権が脅かされるときです。文化・芸術を自由に創造し、また鑑賞することは国民の基本的な権利であり、それを保障することが行政の責務です。「表現の自由」を侵害する河村市長の発言は、行政の長としての資格を欠いたものと言わざるをえません。

日本共産党名古屋市会議員団は、このような河村市長発言に強く抗議するとともに、「表現の自由」を守る議論の契機となるよう「表現の不自由展・その後」の再開を求めます。企画者側は来場者や職員の安全が危惧されることを中止の理由にしていますが、不当な暴力や脅迫から「表現の自由」と市民の安全を守ることこそ行政の責務であり、そのためのさらなる努力を強く求めます。

大きな歓声が上がり、当選者は、平和に対する思いを一言ずつ述べて景品を持ち帰りました。小雨が降り、あちこちにぎやかに終りました。

原発再稼働反対訴え7年

8月7日、ちようちんデモ7周年のデモ（毎週水曜日午後6時五女子出発、尾頭橋交差点までアピール）があり、「原発再稼働反対」「すべての原発廃炉に賛成」をアピールしました。「消費税10%増税反対」「河村

市長の『検閲』憲法違反」などのプラスタも掲げられました。

福島原発事故を忘れない

ちようちんデモは、2011年3月11日の東日本大震災福島第一原発事故を受け、2012年8月8日から取り組まれました。八幡、八熊、露橋学区の地域の人たちとともに江上博之市議も参加しています。



7周年記念とともに、直前の8月3日中止となった「表現の不自由展・その後」企画展に介入した河村市長への抗議もしました。

表現の自由を守れ！

8月5日、江上博之市議ら日本共産党名古屋市議団

は、河村たかし市長に対し、「表現の自由を守れ」と申し入れました。（全文は上）

これからの名古屋の文化芸術が問われています。

9月早朝宣伝

2日 月 あおなみ線小本
3日 火 下之一色
6日 金 近鉄戸田
10日 火 JR春田
13日 金 高畑
17日 火 名鉄山王
20日 金 万場小橋
24日 火 近鉄伏屋
26日 木 あおなみ線荒子
27日 金 あおなみ線中島
朝7時半から8時10分

無料相談（子育て・教育問題も） 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450